

2021年10月27日

各 位

会社名 株式会社関通
代表者名 代表取締役社長 達城 久裕
(コード番号 : 9326 東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役 片山 忠司
電話番号 06-4308-8901

<マザーズ>投資に関する説明会開催状況について

下記のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせ申し上げます。

記

開催状況

開催日時	2021年10月27日 午前11時00分から午前11時40分まで
開催方法	インターネットを利用したライブ配信
開催場所	東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー モーニングスター株式会社内
説明会資料名	2022年2月期第2四半期決算説明資料

添付資料

2022年2月期第2四半期決算説明資料

以上

2022年2月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社関通
(証券コード：9326)

2021年10月27日



目次

I. 会社概要	3
II. サービス概要	6
III. 今後注力するサービス	15
IV. 関通の強み	20
V. 2022年2月期 第2四半期決算概要	26
VI. 2022年2月期 業績予想	40
[ご参考] SDGs への取組み	45
[ご参考] その他当社サービス	48

I. 会社概要

1. 会社概要

EC・通販物流支援サービスを中心とした物流サービス事業、倉庫管理システム「クラウドトーマス」の提供を中心としたITオートメーション事業を展開。

会社名	株式会社関通	
事業所	本社 大阪支社	大阪府東大阪市長田1丁目8-13 大阪府大阪市北区大深町1-1LINKS UMEDA 8F WeWork LINKS UMEDA
	東京システム開発部 物流拠点	東京都千代田区神田佐久町3-37-1 文唱堂ビル 5F 関西12拠点、関東4拠点 [総面積 52,400坪 (2021年8月31日現在)]
設立	1986年4月	
代表者	代表取締役社長 達城久裕	
資本金	784百万円 (2021年8月31日現在)	
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ	
従業員数	299名 (2021年8月31日現在・常用雇用者数)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none">■ 物流サービス事業<ul style="list-style-type: none">EC・通販物流支援サービス楽天スーパーロジスティクスサービス受注管理業務代行サービス物流コンサルティングサービス■ ITオートメーション事業<ul style="list-style-type: none">倉庫管理システム「クラウドトーマス」チェックリストシステム「アニー」■ その他の事業	



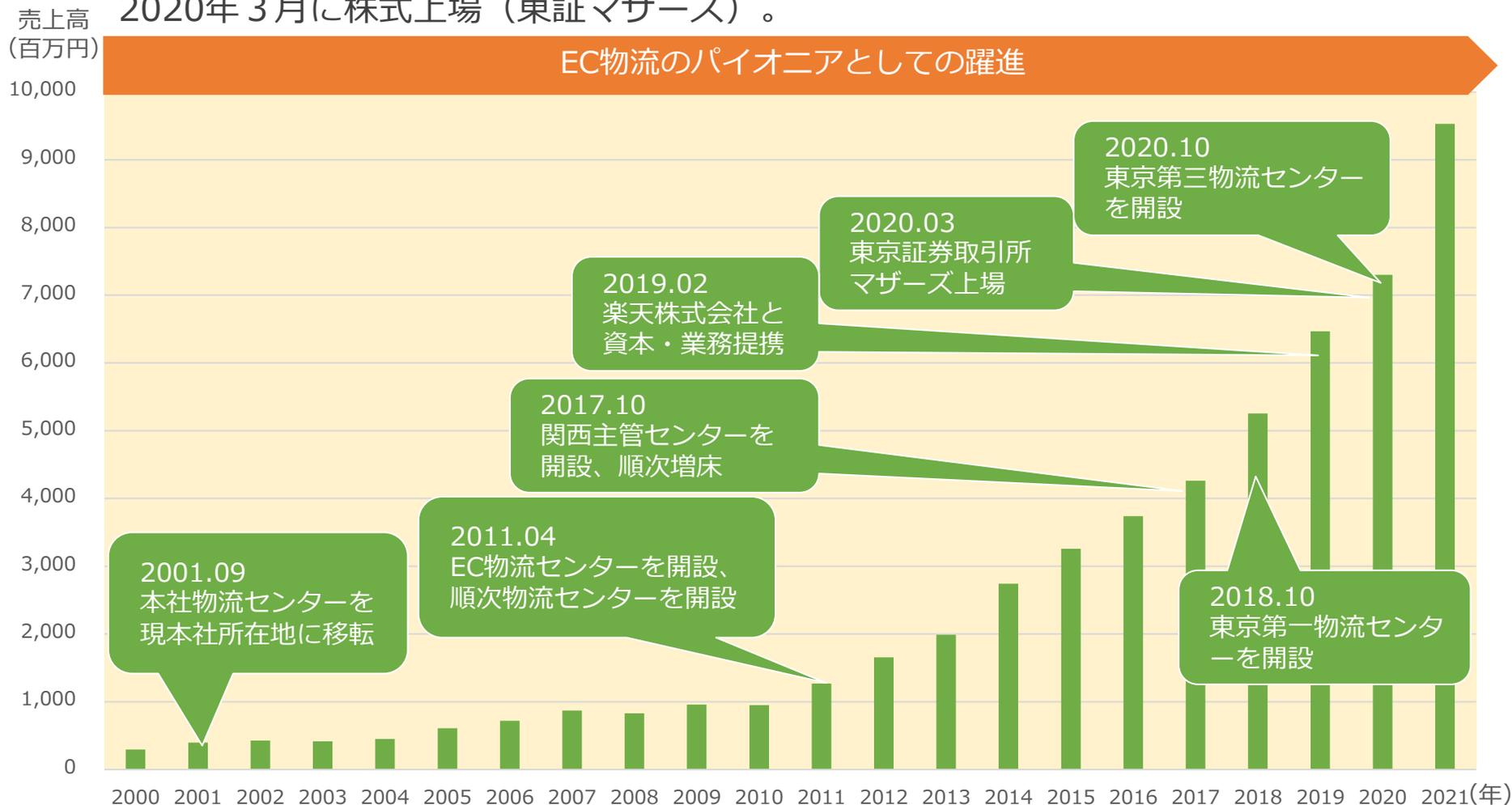
関西主管センター



東京第一物流センター

2. 沿革

2000年頃にまだ小さなEコマース市場にEC・通販物流支援サービスを展開。EC市場の成長と歩調を合わせ2010年代に急成長、2019年2月に楽天と資本・業務提携、2020年3月に株式上場（東証マザーズ）。



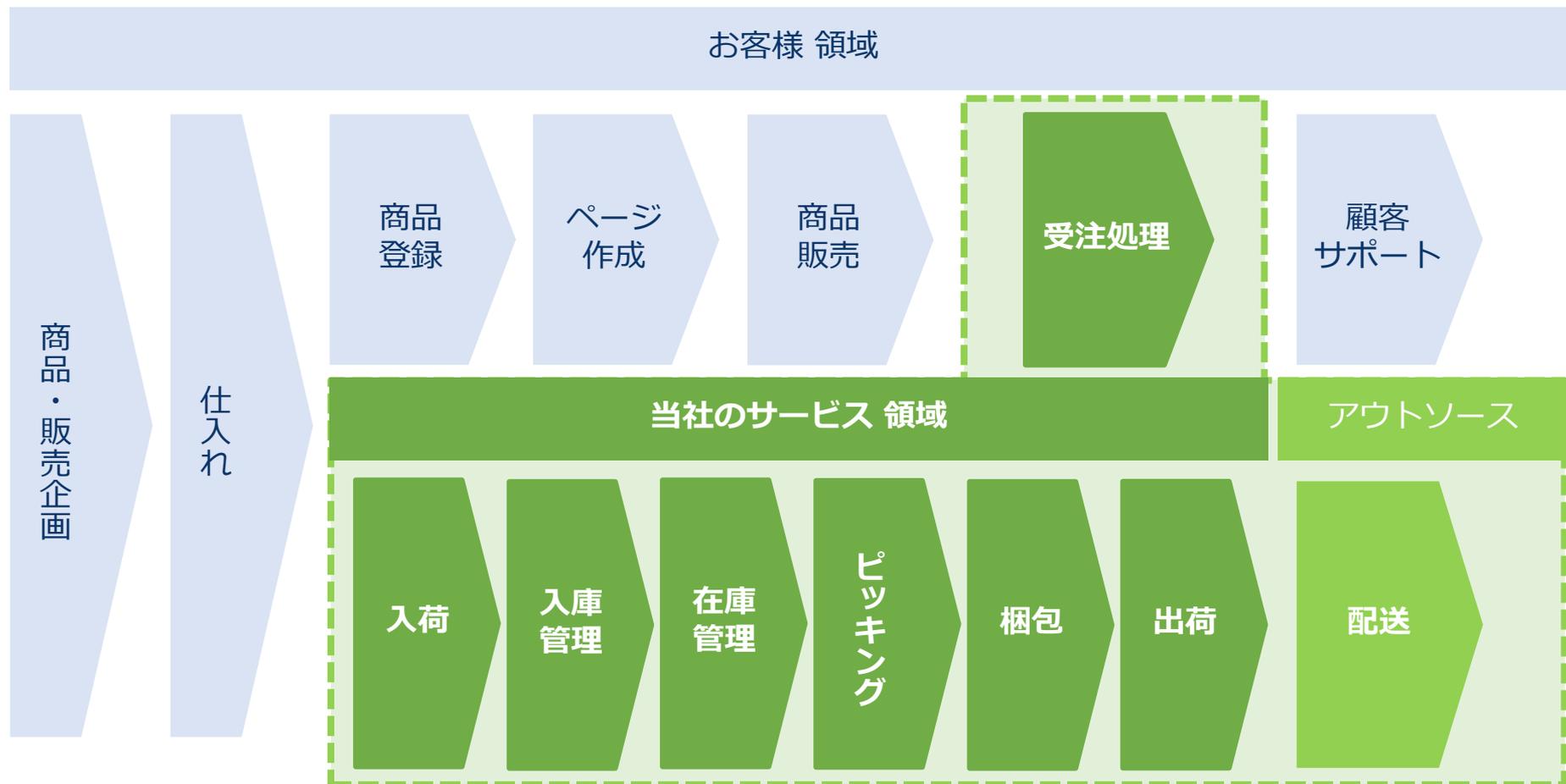
Ⅱ. サービス概要

1. 物流サービス事業

EC通販物流支援サービス

当社の業績を牽引する主力事業

商品の入庫、在庫管理及び出庫等の配送センター業務をEコマース事業者や通販事業者などのお客様から受託し、**お客様に代わって配送センター業務を行うサービス。**



1. 物流サービス事業

当社のEC・通販物流支援サービスが選ばれる理由

インターネット通販の黎明期である2000年頃から業務を開始し、出荷個数の増加に対応。成長するインターネット通販のお客様から、多くの支持をいただく。

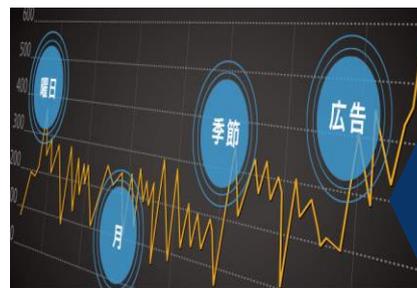
出荷数の成長対応

ドミナント戦略や関通独自のWMSを使用し、効率的に量に対応



波動対応

物流ボリュームに応じたタイムリーな増減対応



在庫管理課題解決

関通独自のWMS「クラウドトーマス」で在庫管理の効率化を実現



出荷精度の改善

出荷ミスを最小限に抑えた物流サービスを提供



1. 物流サービス事業

- ドミナント戦略の推進で波動対応を実現



埼玉県和光・新座市

19,100坪
(2,300坪)



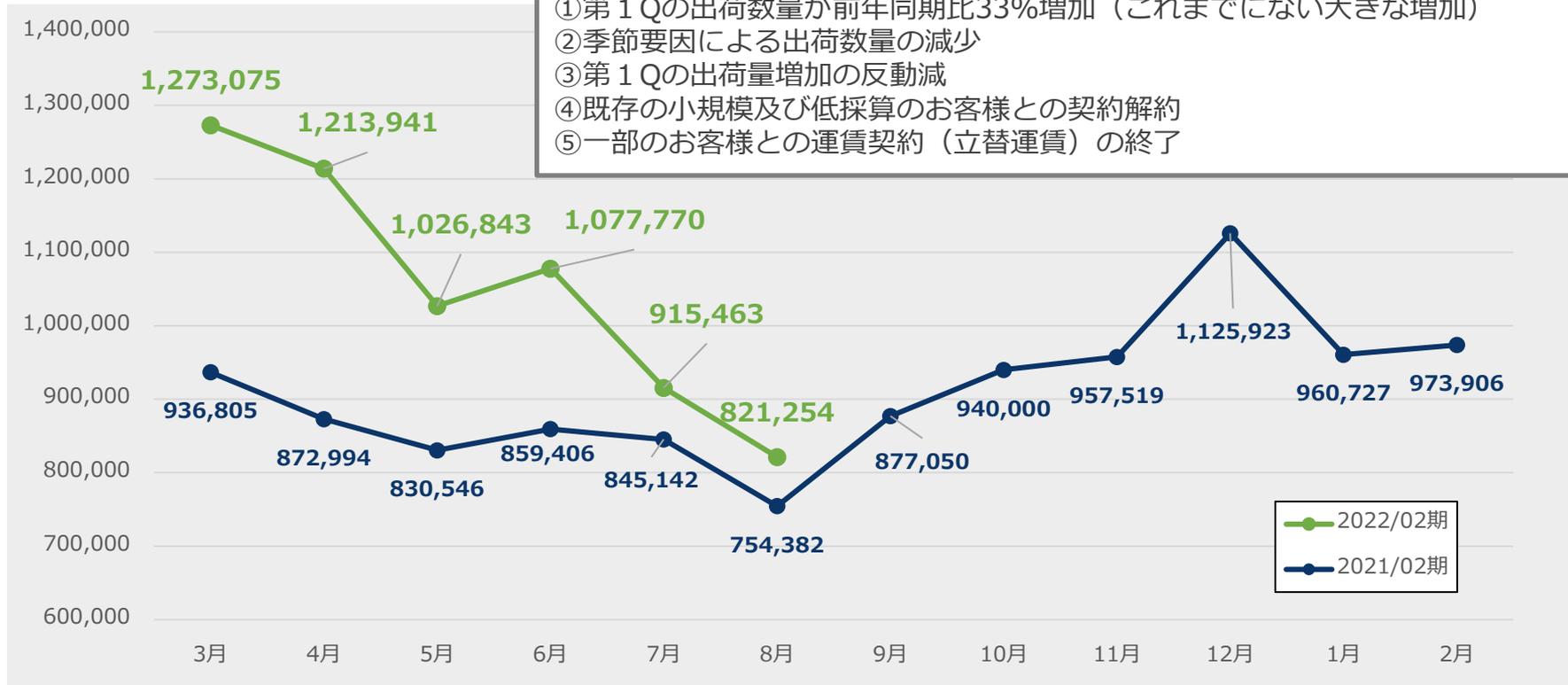
- ※各地域の坪数は、予定を含んでおります。
- ※坪数の () 書きは、内書きで冷凍冷蔵倉庫の坪数を表示しており、予定を含んでおります。
- ※兵庫県尼崎市の坪数のうち () 書きは、床面積で表示しておりますが、1,050パレットの保管容量があります。

1. 物流サービス事業

インターネット通販の黎明期である2000年頃から業務を開始し、出荷個数の増加に対応。多くの有名ショップの成長を支え、年間約1,100万個（2021年2月期実績）の出荷を担う。

月間出荷個数推移

(単位：個)



【2022年2月期第2四半期】

※出荷個数は第2四半期においても前年同期比14.5%増加し増加基調を維持。

・同第1四半期比出荷個数減少の要因

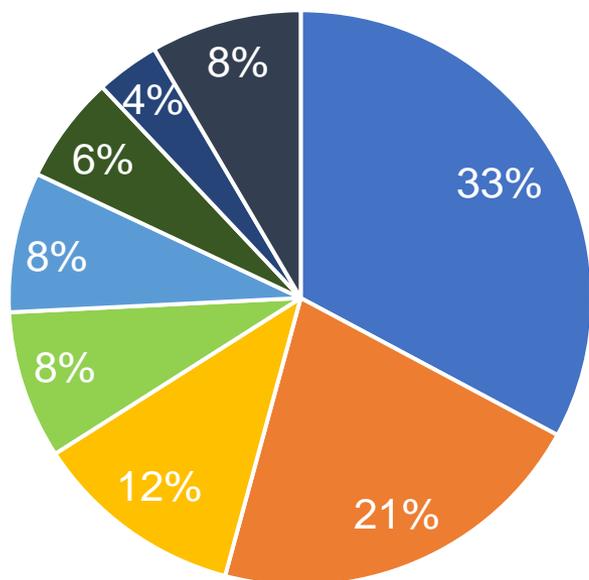
- ①第1Qの出荷数量が前年同期比33%増加（これまでになく大きな増加）
- ②季節要因による出荷数量の減少
- ③第1Qの出荷量増加の反動減
- ④既存の小規模及び低採算のお客様との契約解約
- ⑤一部のお客様との運賃契約（立替運賃）の終了

1. 物流サービス事業

多様な業種のお客様に物流サービスを提供し、多様な業種のお客様の物流ノウハウを蓄積。

お客様の成長を支える物流サービスを提供。

【業種別売上高構成比】（2022年2月期2Q実績）



- 衣類、服装雑貨等
- 食品、飲料、酒類
- 書籍、映像・音楽ソフト
- 生活家電、AV機器、PC・周辺機器等
- 化粧品、医薬品
- サービス
- 生活雑貨、家具、インテリア
- その他

※2022年2月期第2四半期累計売上高実績上位100社から算出。
 ※楽天スーパーロジスティクスサービスは「サービス」に分類。

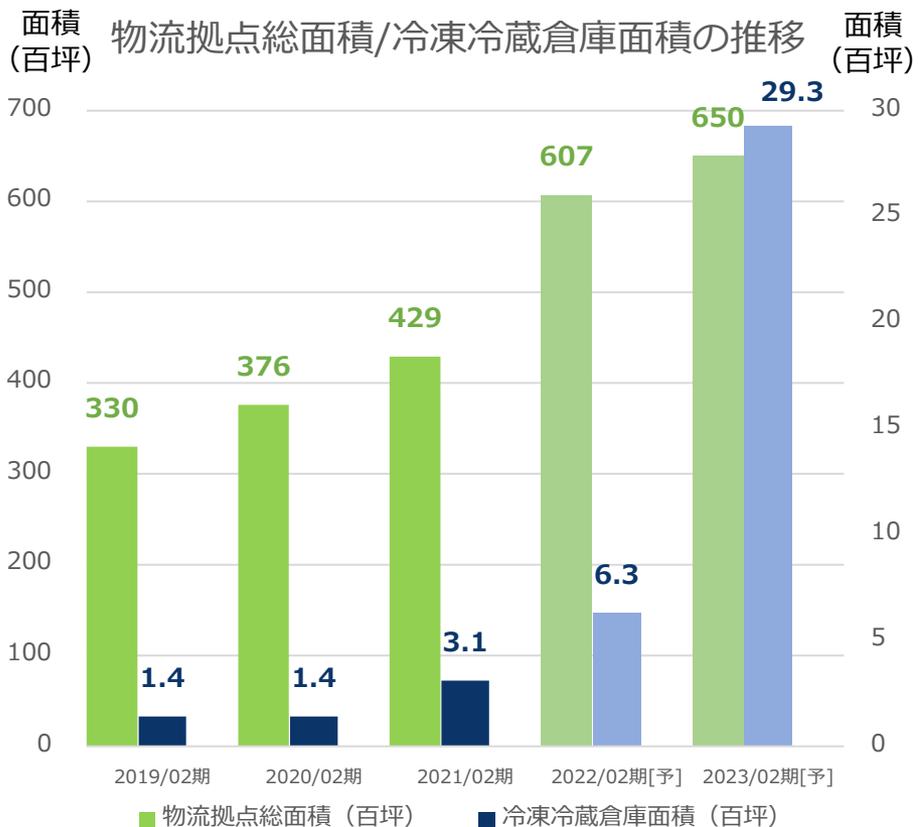
【お客様の成長率】（2022年2月期2Q末現在）



※直近24か月以上の取引実績があるお客様を対象として、直近12か月のお客様に対する売上高の前年同月比を月次で算出し、その平均値を算出しております。

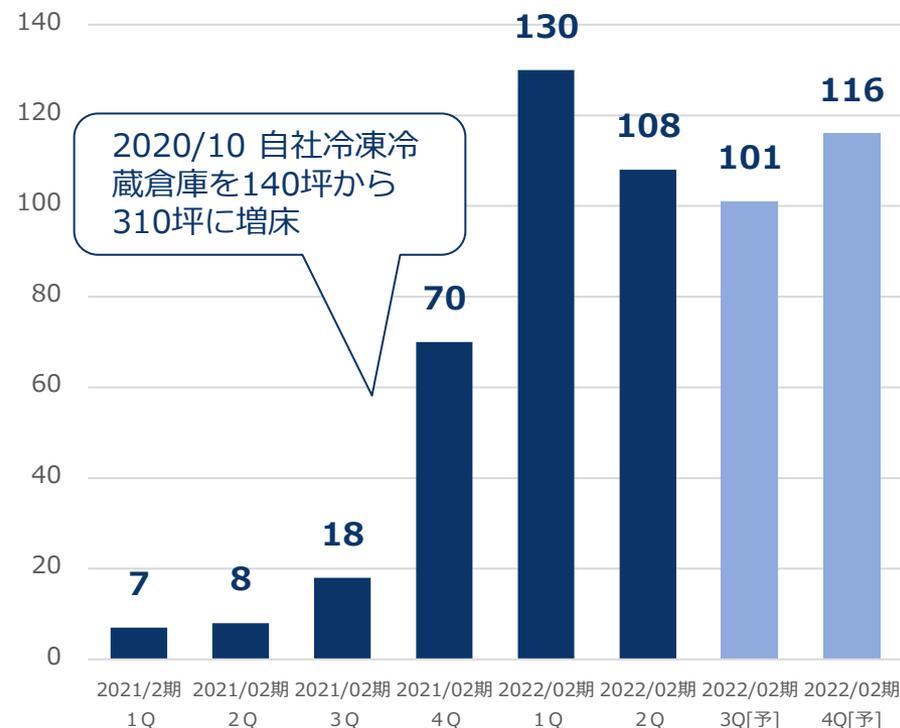
1. 物流サービス事業

- Eコマース物流に対応した自社冷凍冷蔵倉庫を2022年4月までに、現在の310坪から約3,000坪に増床予定。



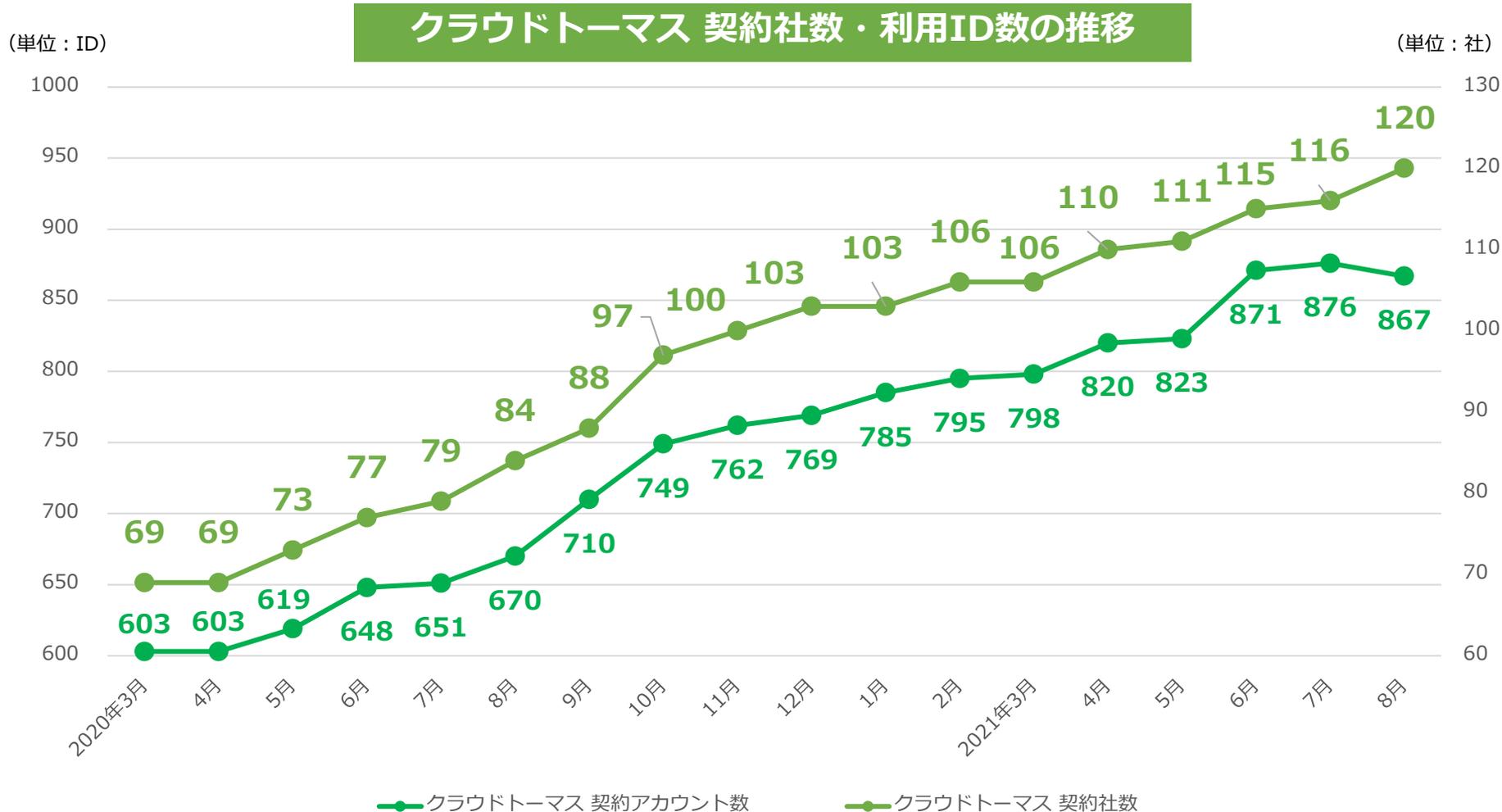
※冷凍冷蔵面積は、物流拠点坪数に対して内書きで表示しております。
 ※2022年1月新設予定の冷凍冷蔵倉庫は、自動倉庫でのパレット保管となります。面積の表示は床面積で表示しておりますが、1,050パレットの保管容量があります。

(百万円) 自社冷凍冷蔵倉庫の四半期売上高推移



2. ITオートメーション事業

クラウドトーマス、クラウドトーマスProの契約社数は堅調に増加。
クラウドトーマスProは業界パッケージをリリースし販売強化。



2. ITオートメーション事業

クラウドトーマス、クラウドトーマスProの契約社数は堅調に増加。
クラウドトーマスProは業界向けパッケージをリリースし販売強化。

クラウドトーマスPro 契約社数・利用ID数の推移



Ⅲ. 今後注力する サービス

1. 冷凍冷蔵倉庫／ONCE

冷凍冷蔵倉庫の増設



冷凍・冷蔵食品物流支援サービスについて詳細はコチラ



海外企業の日本EC参入をサポート



ワンス中国語サイト
はコチラ



ワンス 英語サイト
はコチラ



2. Amazon セラー様向け物流サービスの拡充

Amazon セラー（出店者）様向け物流サービスの拡充

- **Amazon限定ブランド対応**
- **Amazonマーケットプレイス対応**
- **Amazonセラー様向け冷凍冷蔵センター運営**

3. 受注処理自動化システム「e.can」

受注処理業務の完全自動化・無人化に向けた取組みを強化。

完全自動化により、お客様の出荷個数増加を実現する環境を構築し、物流サービスにおける付加価値向上を目指す。

受注処理自動化システム「e.can（イーキャン）」

人の手間暇がかかる受注処理業務を「**ノータッチで完了**」させることを目指す。

ミスの多い受注処理で正確性、完全性を高めサービスレベルを向上させ満足度を高める。

ネットショップ受注処理の
受注伝票の書き換え作業を
自動化するシステム



e.canの詳細い
内容はコチラ



4. キヤノンITソリューションズ様との関係強化

キヤノンITソリューションズ様との関係強化

2021.4.27

キヤノンITソリューションズ様と
クラウドトーマスの販売代理店契約の締結

[プレスリリースの詳細はこちら](#)

2021.10.1

業界特化型のクラウドトーマス
For food / For medical / For Apparel
の販売開始

[プレスリリースの詳細はこちら](#)

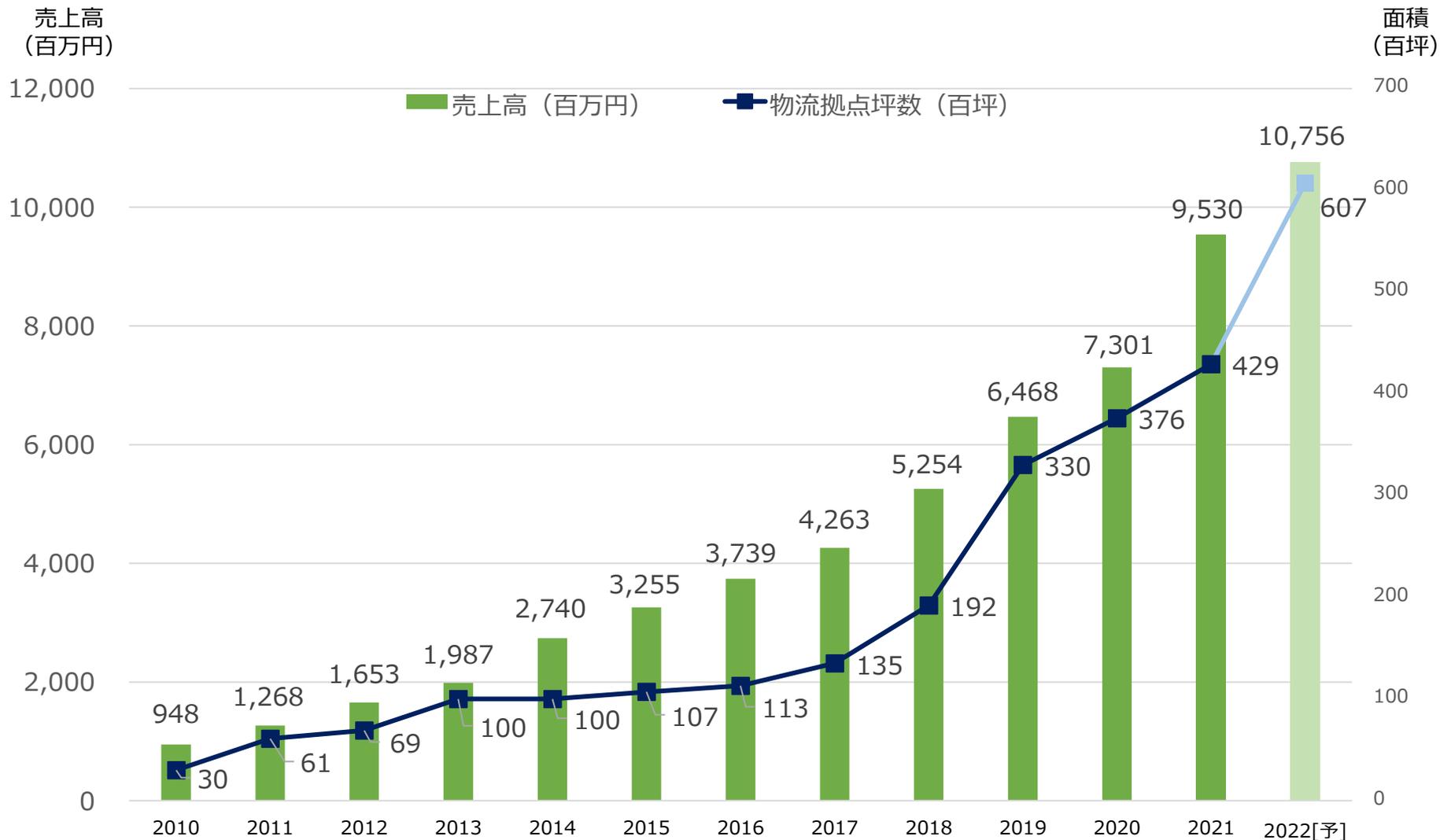


キヤノンITソリューションズ様との連携を深め、
販売体制の構築へ

IV. 関通の強み

1. 当社の売上高の推移

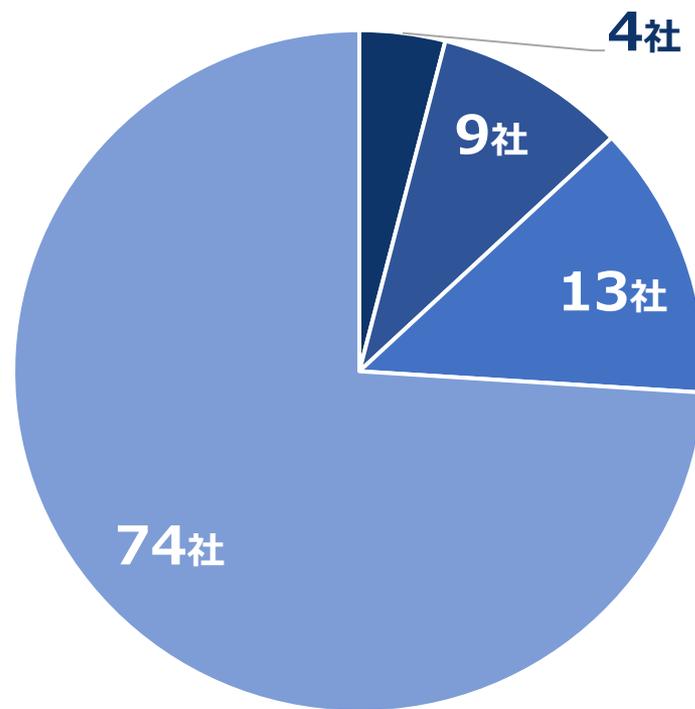
新規のお客様獲得だけでなく、既存のお客様との安定したお取引が当社の成長を牽引。



2. お客様別の売上占有率

数多くのお客様とのお取引が経営基盤を支える。

【お客様別の売上占有率】（2022年2月期2Q累計実績）



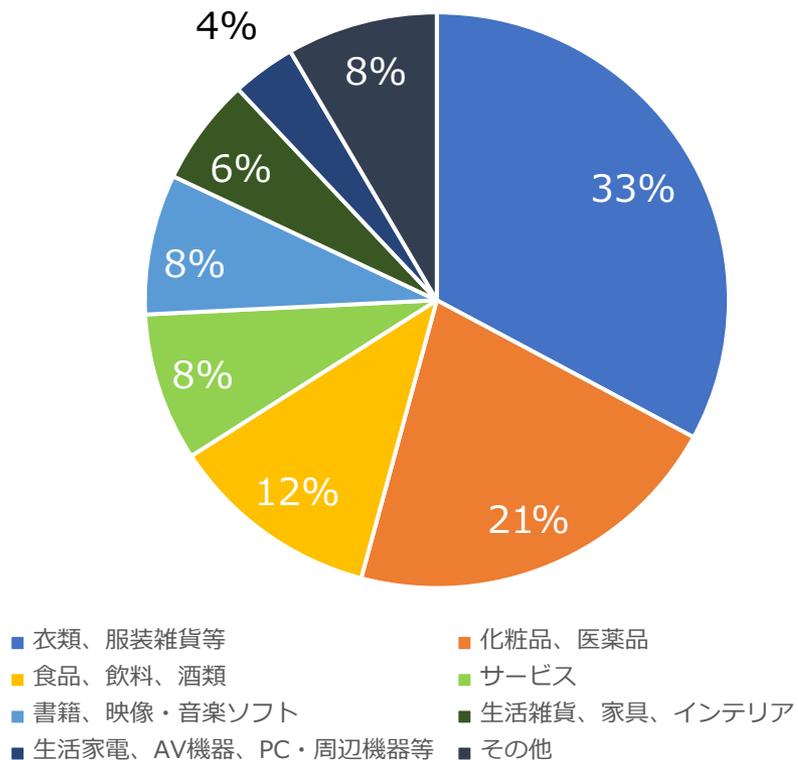
■ 5%以上 ■ 2%以上5%未満
■ 1%以上2%未満 ■ 1%未満

※ 2022年2月期第2四半期累計売上高実績上位100社から算出。

3. 厚い顧客基盤

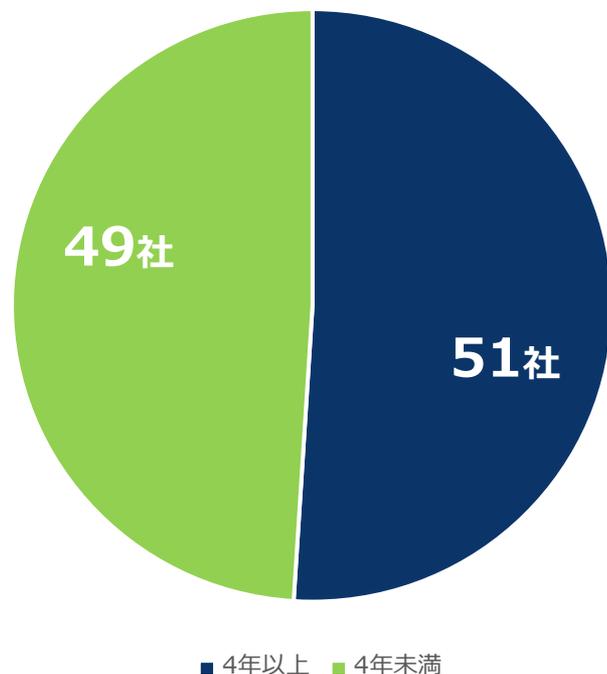
多様な業種のお客様の物流を支援

【業種別売上高構成比】（2022年2月期2Q実績）



お客様への長期間にわたるサービス提供

【お客様との契約年数】（2022年2月期2Q実績）

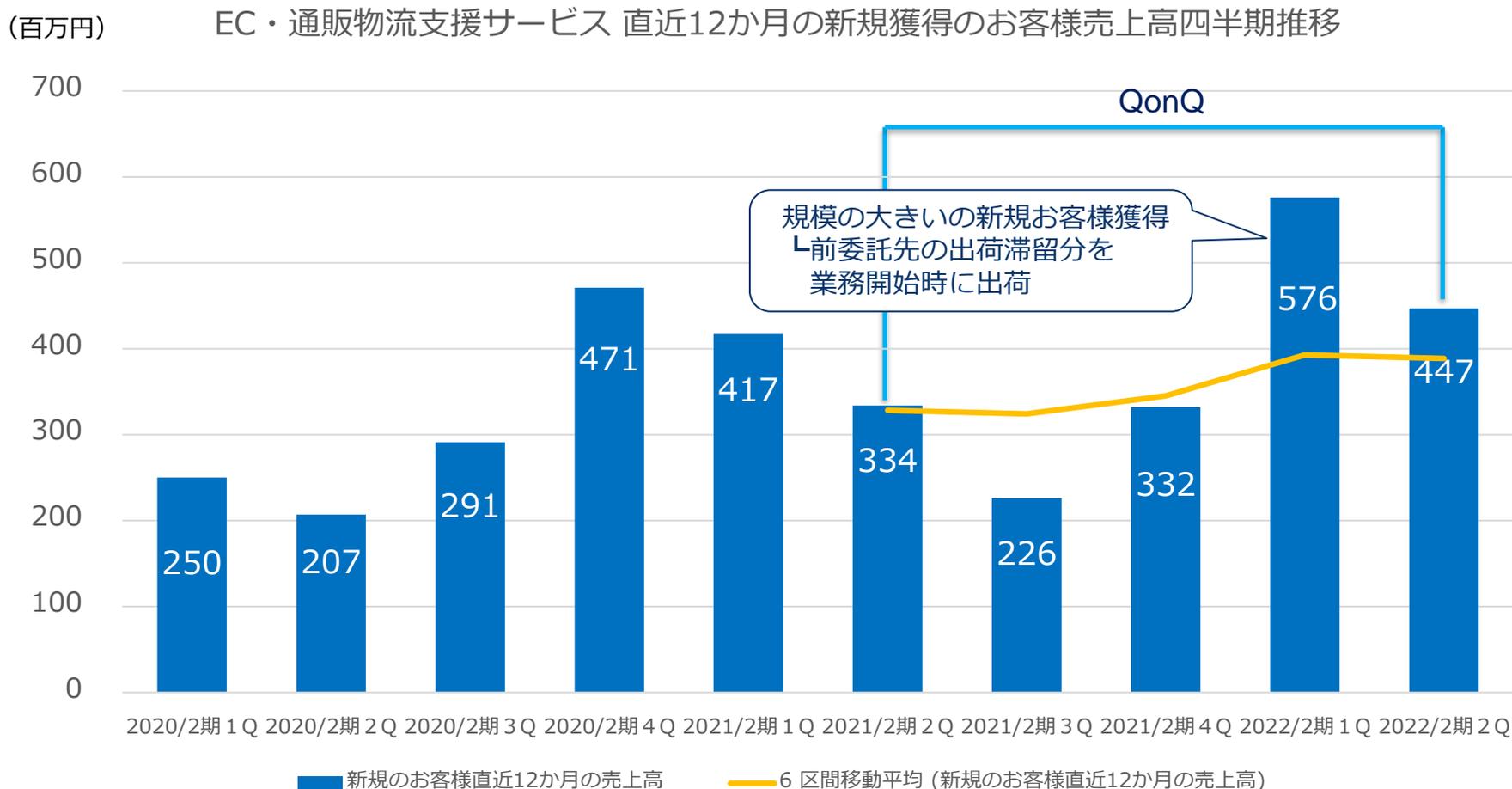


※2022年2月期第2四半期累計売上高実績上位100社から算出。
 ※楽天スーパーロジスティクスサービスは「サービス」に分類。

※ 2022年2月期第2四半期累計売上高実績上位100社から算出。

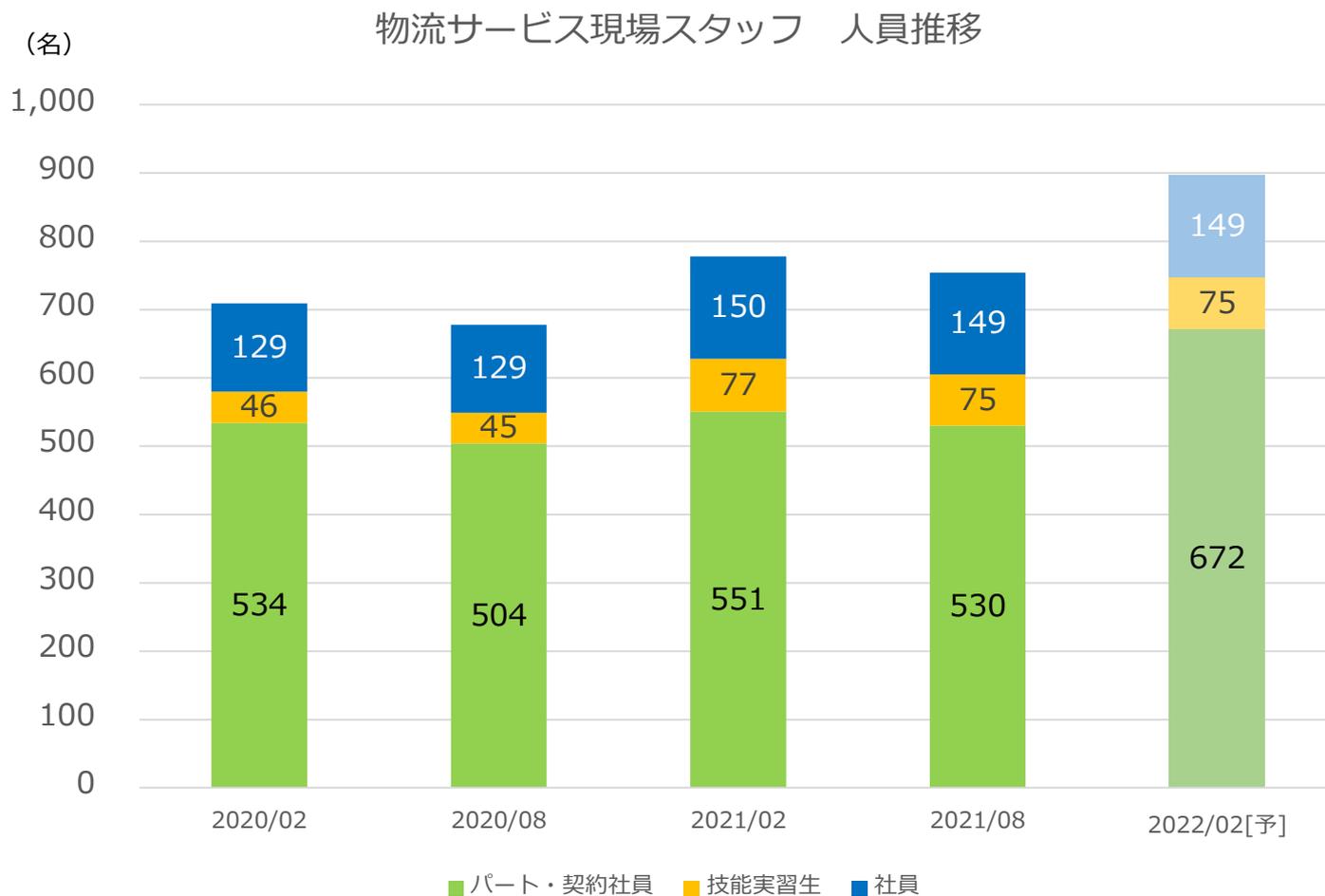
4. 新規のお客様獲得の状況

毎年の新規のお客様が当社の成長を支える。



5. 雇用・人材育成・人材活用力

EC・通販物流支援サービスのドミナント戦略、省力化・自動化を推進。
必要な現場スタッフを適切に配置。パート社員、技能実習生を中心とした現場運営。



V. 2022年2月期 第2四半期 決算概要



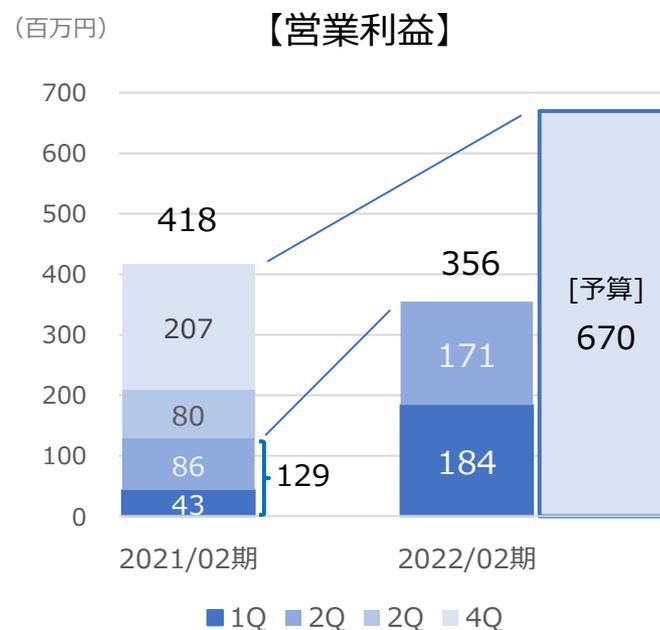
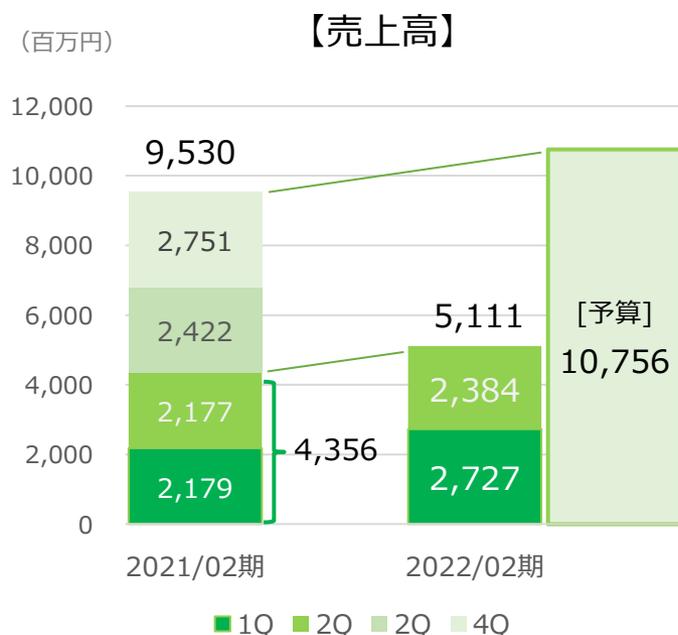
1. 2022年2月第2四半期決算のハイライト

- ・営業利益が前年同期の2.7倍に増加。

2021年4月新設のEC・通販物流センターの倉庫棟（約4,800坪）が満床。

2021年6月新設のD2C物流センター（約5,200坪）の稼働率は約70%。

売上高	5,111	百万円	（前年同期比増減	17.3	%増）
営業利益	356	百万円	（前年同期比増減	174.5	%増）



2. 2022年2月期第2四半期業績のサマリー

物流サービス事業、ITオートメーション事業ともに、順調に売上を伸ばし増収増益。

(単位：百万円，%)

	2021/2期 第2Q		2022/2期 第2Q		前年同期比	
	累計	百分比	累計	百分比	増減額	増減率
売上高	4,356	100.0	5,111	100.0	754	17.3
売上総利益	468	10.7	769	15.0	301	64.3
販管費	338	7.8	412	8.1	74	22.0
営業利益	129	3.0	356	7.0	226	174.5
経常利益	110	2.5	334	6.5	223	202.1
四半期純利益	78	1.8	230	4.5	151	193.5
EPS (円)	9.07	—	22.91	—	—	—

* 2022/2期 第1Qから「ITオートメーション事業」を独立した報告セグメントとしたことにともない、ソフトウェア開発に係る減価償却費の見直しを行ったこと等により、2021/2期 第2Qに販管費に含めておりました減価償却費10百万円は、売上原価に組替えております。

* 2021年9月1日付で株式分割（1：3）を行っております。EPSは当該株式分割が2021/2期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

3. 四半期業績推移のサマリー

通期予算に対する進捗率は、売上高47.5%、営業利益53.1%となり、通期予算比で堅調に推移。

(単位：百万円，%)

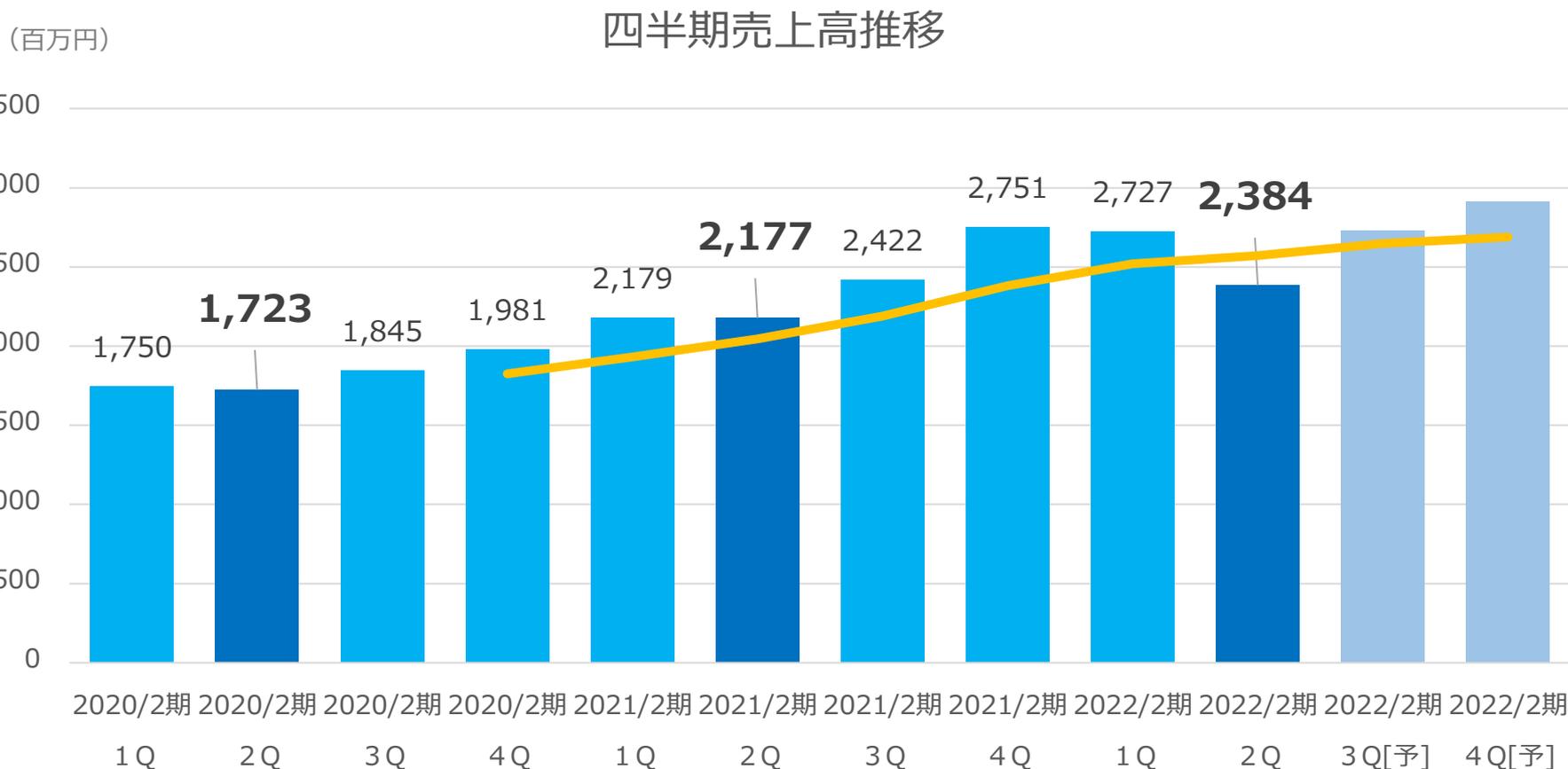
	2021/2期				2022/2期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	累計	第2Q 予算比	通期予算 進捗率	通期予算
売上高	2,179	2,177	2,422	2,751	2,727	2,384	5,111	96.8	47.5	10,756
売上総利益	212	255	264	393	397	371	769	101.9	47.8	1,608
販管費	168	169	183	186	213	199	412	94.7	44.0	937
営業利益	43	86	80	207	184	171	356	111.6	53.1	670
経常利益	32	78	74	198	171	163	334	112.6	52.7	635
四半期純利益	23	55	55	148	117	112	230	113.4	53.7	428
EPS (円)	2.78	6.12	6.14	15.86	11.92	10.95	22.91	—	—	42.27

* 2022/2期 第1Qから「ITオートメーション事業」を独立した報告セグメントとしたことにとまない、ソフトウェア開発に係る減価償却費の見直しを行ったこと等により、2021/2期 第2Qに販管費に含めておりました減価償却費10百万円は、売上原価に組替えております。

* 2021年9月1日付で株式分割（1：3）を行っております。EPSは当該株式分割が2021/2期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

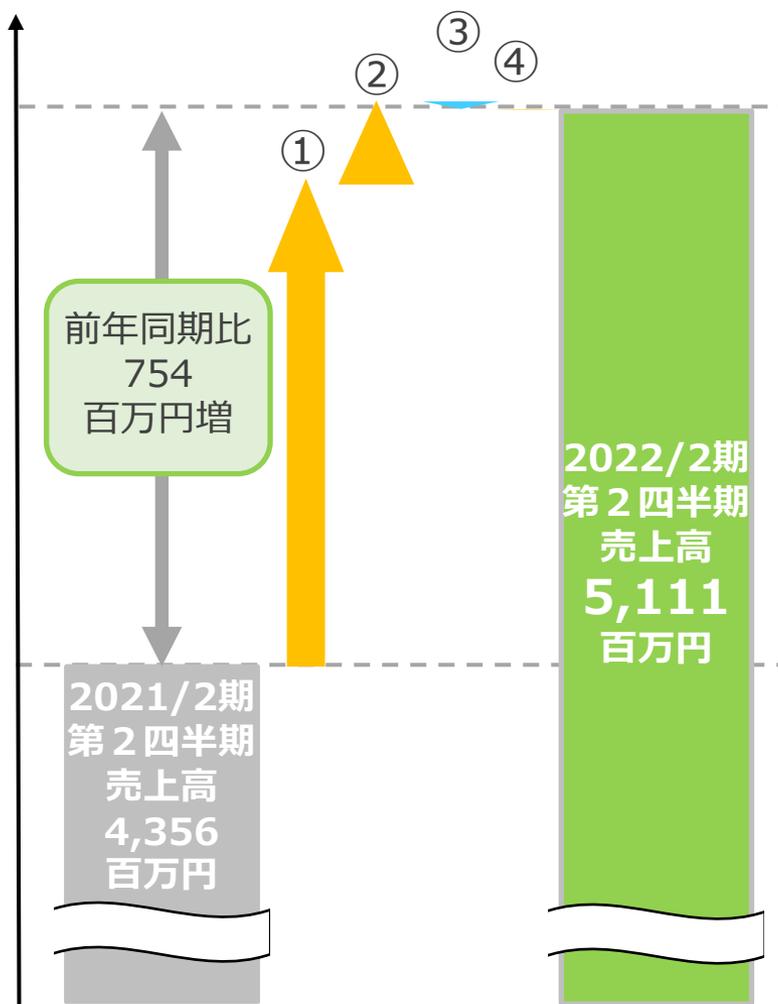
3. 四半期業績推移のサマリー

四半期毎の売上高は前年同期比拡大基調で推移。



* グラフ中の「」は、各四半期における直近4四半期の売上高の移動平均値を示しております。

4. 売上高の増減要因



① EC・通販物流支援サービスの増加

一部のお客様の運賃契約切替えによる売上高の減少があった一方で、前期獲得の新規お客様、第1四半期に新規導入のお客様が四半期の売上に寄与。

前年同期比 +651百万円

② ITオートメーション事業の増加

契約社数が堅調に推移したことに加え、第1四半期にクラウドトーマスの新規導入に関連して物流業務の自動化装置を販売。

前年同期比 +112百万円

③ その他物流サービスの減少

主に新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため学べる倉庫見学会を開催中止したこと等による影響。

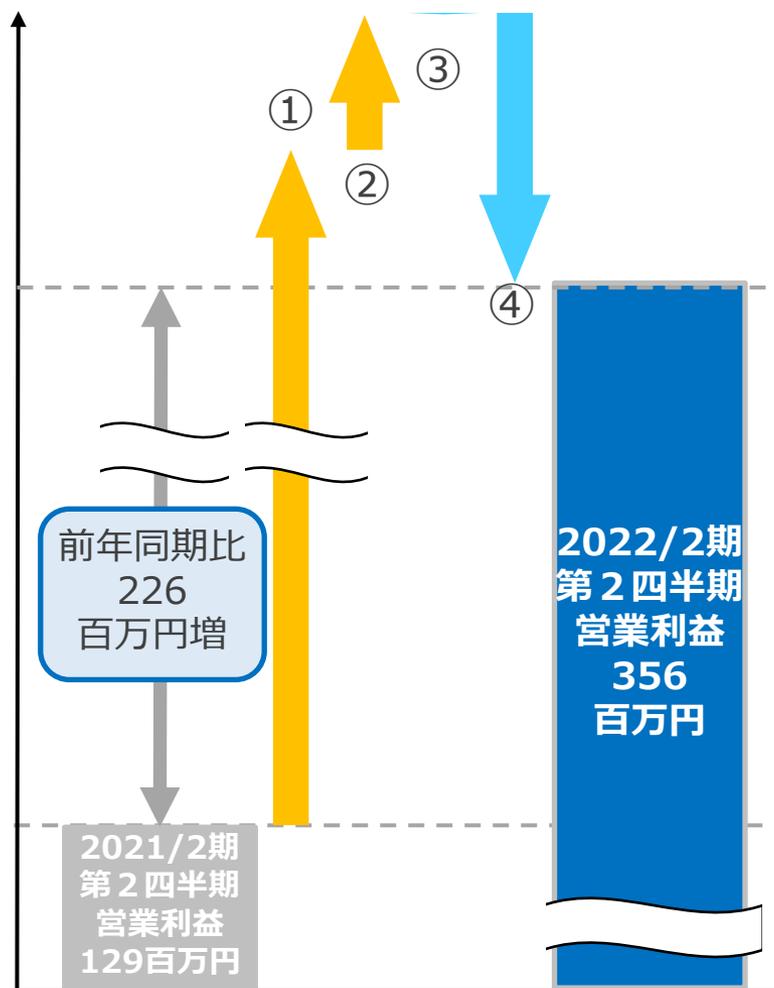
前年同期比 △7百万円

④ その他の事業の減少

主に新型コロナウイルス感染拡大により外国人技能実習生教育サービスの売上高が減少。

前年同期比 △1百万円

5. 営業利益の増減要因



① 物流サービス事業の売上総利益の増加

主にEC・通販物流支援サービスに係る売上高の増加が寄与。

前年同期比 +261百万円

② ITオートメーション事業の売上総利益の増加

人員強化等の保守体制の充実を図るも、売上高の増加が寄与。

前年同期比 +39百万円

③ その他の事業の売上総利益の減少

既存のサービスは堅調に推移するも、2020年12月にサービス提供を開始した障がい者向け就労移行支援サービスの費用増加で微減。

前年同期比 Δ 0百万円

④ 販管費の増加 (Δ)

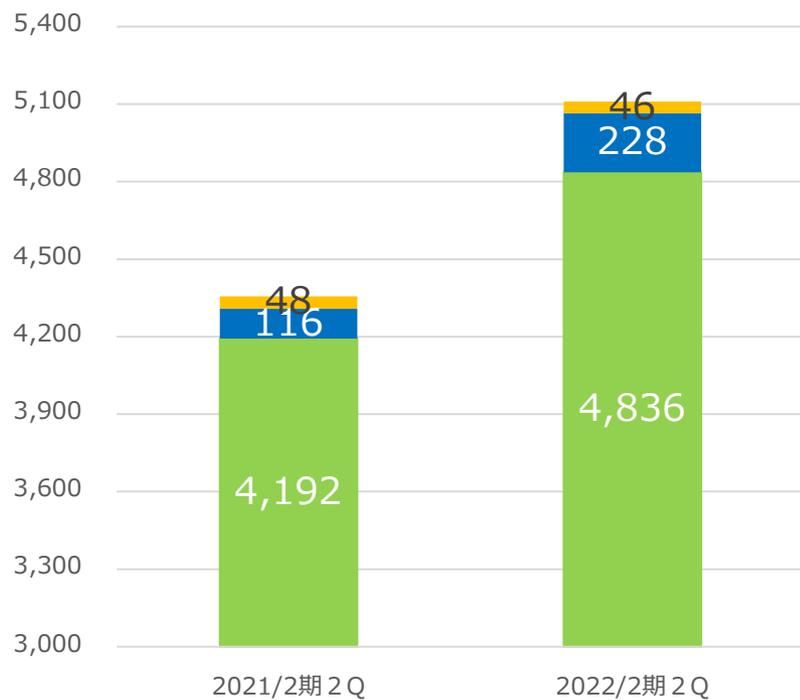
主に内部管理体制、広告宣伝の強化等による販管費の増加

前年同期比 Δ 74百万円

6. セグメント別 (1) 全体

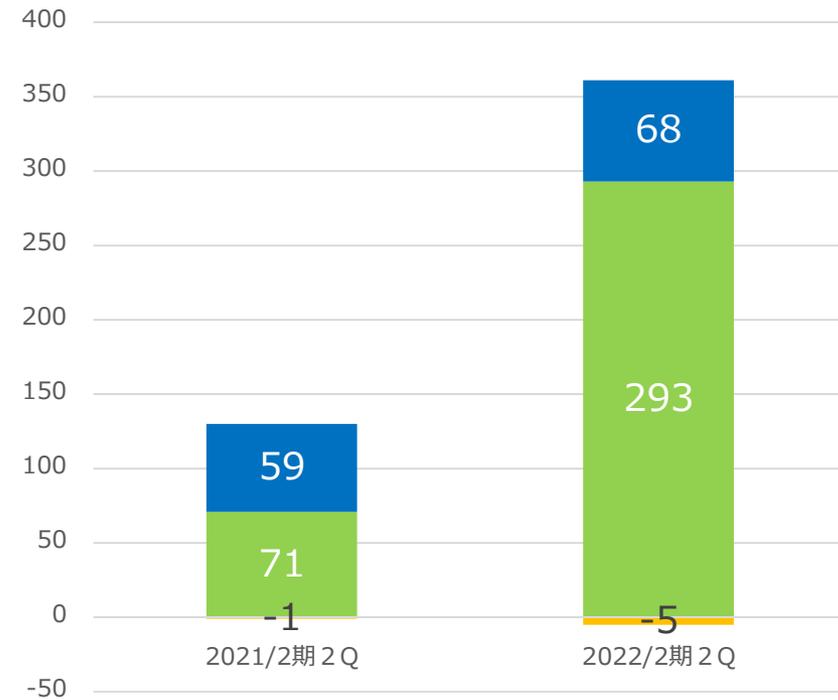
- 物流サービス事業、ITオートメーション事業ともに売上高が増加し、ITオートメーション事業の業績貢献度の拡大は堅調に推移。

(百万円) セグメント別の売上高構成



■ 物流サービス事業 ■ ITオートメーション事業 ■ その他の事業

(百万円) セグメント別の営業利益構成



■ 物流サービス事業 ■ ITオートメーション事業 ■ その他の事業

6. セグメント別 (2)物流サービス事業

- 一部のお客様の運賃契約切替えによる売上高の減少があった一方で、前期及び第1四半期に獲得の新規お客様が四半期寄与し、売上高は前年同期比15.4%、643百万円増。
- 売上高の増加に加え、運賃契約の切替えは利益影響が僅少で利益率が改善。セグメント利益は前年同期比308.8%、221百万円増。

(単位：百万円，%)

	2021/2期第2Q		2022/2期第2Q		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
EC・通販物流支援サービス	4,099	97.8	4,750	98.2	651	15.9
受注管理業務代行サービス	49	1.2	52	1.1	2	6.0
その他	42	1.0	32	0.7	△10	△24.2
セグメント売上高	4,192	100.0	4,836	100.0	643	15.4
セグメント利益	71	1.7	293	6.1	221	308.8

* 楽天スーパーロジスティクスサービスの売上高は、EC・通販物流支援サービスの売上高に含めて記載しております。

6. セグメント別 (3)ITオートメーション事業

- クラウドトーマスの契約社数は堅調に推移し、第1四半期に新規導入に関連して物流業務の自動化機器を販売したこと等で、売上高は前年同期比96.2%、112百万円増。
- 自動化機器の販売で原価率が上昇したほか、昨年、トーマスProをリリースし、またサポート体制の強化するも、セグメント利益は前年同期比16.2%、9百万円増。

(単位：百万円, %)

	2021/2期第2Q		2022/2期第2Q		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
クラウドトーマス	68	58.8	174	76.4	106	155.0
その他	48	41.2	53	23.6	5	12.1
セグメント売上高	116	100.0	228	100.0	112	96.2
セグメント利益	59	50.8	68	30.1	9	16.2

6. セグメント別 (4)その他の事業

- 外国人技能実習生教育サービスは、新型コロナウイルスの感染拡大等により、新規のサービス提供ができず減少となるも、その他教育サービスは2020年12月にサービス提供を開始した発達障がい者向け就労移行支援サービスを含め堅調に推移し、売上高は前年同期比微減。
- 発達障がい者向け就労移行支援サービスの提供開始による費用増加で、営業利益は前年同期比4百万円減。

(単位：百万円，%)

	2021/2期第2Q		2022/2期第2Q		前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
外国人技能実習生 教育サービス	13	28.3	5	12.3	△7	△58.0
その他教育サービス	34	71.7	41	87.7	6	19.0
セグメント売上高	48	100.0	46	100.0	△1	△2.8
セグメント利益	△1	-	△5	-	△4	-

7. 要約貸借対照表

	2021/2期末		2022/2期第2Q末		前期比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	4,142	55.0	4,456	54.4	314
現金・預金	2,592	34.4	2,984	36.4	391
売上債権	1,256	16.7	1,036	12.6	△219
その他	293	3.9	435	5.3	142
固定資産	3,390	45.0	3,741	45.6	350
有形固定資産	2,326	30.9	2,470	30.1	144
無形固定資産	259	3.5	293	3.6	33
投資その他資産	804	10.7	977	11.9	172
資産合計	7,532	100.0	8,197	100.0	664
流動負債	1,836	24.4	1,624	19.8	△211
仕入債務	472	6.3	270	3.3	△201
有利子負債	817	10.9	803	9.8	△13
その他	546	7.3	550	6.7	4
固定負債	4,101	54.4	4,080	49.8	△20
有利子負債	3,867	51.3	3,820	46.6	△46
その他	234	3.1	260	3.2	25
負債合計	5,937	78.8	5,705	69.6	△232
純資産合計	1,595	21.2	2,491	30.4	896
負債純資産合計	7,532	100.0	8,197	100.0	664

(単位：百万円，%)

新株予約権の行使等による増加

物流センターの新設による差入保証金等の増加

2021/2期末が休日であったことによる影響
発送運賃等の減少にともなう減少

新株予約権の行使等による増加

8. キャッシュ・フロー計算書等

【キャッシュ・フローの概要】

(単位：百万円)

	2021/2期		2022/2期	
	2Q累計	4Q累計	2Q累計	主な要因
営業キャッシュ・フロー	39	187	420	税引前当期純利益の計上等
投資キャッシュ・フロー	△292	△650	△627	物流センター新設に伴う設備導入、敷金の支出等
財務キャッシュ・フロー	295	675	591	新株予約権の行使等
現金・現金同等物期末残高	2,231	2,400	2,785	

【設備投資／減価償却費】

(単位：百万円)

	2021/2期		2022/2期	
	1Q累計	2Q累計	1Q累計	2Q累計
設備投資（固定資産）	102	379	284	638
減価償却費（総額）	52	108	70	143

9. 設備投資の状況

【設備投資計画・実績】

(2021年8月31日現在) (単位：百万円)

投資対象	目的	投資 予定額	既払金	着手完了 予定年月
東京主管センター開設 (埼玉県和光市)	既存のお客様の増床、新規の お客様の導入に対応。 [約3,400坪]	184	146	2019/12~ 2021/10
D2C物流センターの開設 (兵庫県尼崎市)	既存のお客様の増床、新規の お客様の導入に対応。 [約5,200坪]	265	152	2021/05~ 2022/02
物流センターへの物流口 ボットの導入	物流ロボット、及び自動化機 器導入の横展開。	400	33	2021/03~ 2022/02
ソフトウェアの開発	倉庫管理システム「クラウド トーマス」の機能強化等。	300	65	2021/03~ 2023/02
物流センターの新設 (兵庫県尼崎市 1施設) (埼玉県新座市 1施設)	既存のお客様の増床、新規の お客様の導入に対応。 [2施設で約13,900坪]	747	325	2021/03~ 2023/02
冷凍冷蔵設備の新設 (埼玉県新座市)	冷凍冷蔵商品のEコマースを 展開する新規のお客様の導入 に対応。	640	—	2022/02~ 2022/04

既払金の内訳
敷金 133百万円
その他 12百万円

既払金の内訳
敷金 139百万円
その他 13百万円

既払金の内訳
自動化機器 33百万円

既払金の内訳
敷金 227百万円
冷凍冷蔵設備 57百万円
その他 40百万円

VI. 2022年2月期 業績予想

1. 2022年2月期 業績予想

- 売上高は前期比12.9%増、営業利益60.4%増と増収増益の見通し。

(単位：百万円, %)

	2021/2期 実績		2022/2期 予想		前期比	
	実績	百分比	予想	百分比	増減額	増減率
売上高	9,530	100.0	10,756	100.0	1,226	12.9
売上総利益	1,126	11.8	1,608	15.0	482	42.9
販管費	707	7.4	937	8.7	229	32.5
営業利益	418	4.4	670	6.2	252	60.4
経常利益	383	4.0	635	5.9	251	65.7
当期純利益	283	3.0	428	4.0	145	51.5
EPS (円)	31.66	—	42.27	—	—	—

* 2021年9月1日付で株式分割（1：3）を行っております。EPSは当該株式分割が2021/2期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

2. セグメント別(1)物流サービス事業

- EC・通販物流支援サービスは引続き市場拡大する中、兵庫県尼崎市に2件の物流センターを新設し、約10,800坪を増床。
- 一部のお客様の契約切替えにより運賃売上が予算上の通期売上高見込額で約800百万円減少する見込み（各段階利益への影響額は僅少）である一方で、前期及び当期の新規のお客様に対する売上高として約1,500百万円を見込む。（単位：百万円，％）

		2021/2期		2022/2期		前期比	
		実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
EC・通販物流支援サービス		8,968	98.1	10,115	98.3	1,146	12.8
受注管理業務代行サービス		92	1.0	111	1.1	18	19.7
その他		85	0.9	66	0.6	△19	△22.8
セグメント売上高		9,146	100.0	10,292	100.0	1,145	12.5

* 楽天スーパーロジスティクスサービスの売上高は、EC・通販物流支援サービスの売上高に含めて記載しております。
 * ソフトウェア販売・利用サービスは、2022/2期 第1四半期から、報告セグメントを「ITオートメーション事業」として独立して開示するため、2021/2期に遡及して物流サービス事業から同サービスを除いて表示しております。

2. セグメント別(2)ITオートメーション事業

- 倉庫管理システム「クラウドトーマス」に加え、より一層、お客様のニーズ・規模に応じた個別カスタマイズが可能な「クラウドトーマスPro」をラインアップすることで、お客様層の拡大を図る。
- クラウドトーマスの業績予想は保守的にカスタマイズ売上を見込まずも、売上高は前期比20.8%、42百万円増の見通し。

(単位：百万円，%)

	2021/2期		2022/2期		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
クラウドトーマス	202	68.2	244	70.1	42	20.8
その他	94	31.8	104	29.9	10	10.6
セグメント売上高	297	100.0	349	100.0	52	17.6

*ITオートメーション事業における2021/2期実績の数値は、物流サービス事業におけるソフトウェア販売・利用サービスの実績数値を用いております。

2. セグメント別 (3)その他の事業

- 外国人技能実習生教育サービスで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、ミャンマーの政情不安の影響が予想される一方で、昨年度新設の発達障がい者向け就労移行支援サービスが売上に貢献する見込みで、その他の事業の売上高は前期比33.1%、28百万円増の見通し。

(単位：百万円, %)

	2021/2期		2022/2期		前期比	
	実績	構成比	予想	構成比	増減額	増減率
外国人技能実習生 教育サービス	19	22.0	10	9.4	△8	△43.3
その他教育サービス	67	78.0	104	90.6	36	54.7
セグメント売上高	86	100.0	115	100.0	28	33.1



[ご参考] SDGs への取組み

[ご参考] SDGs への取り組み

区分	取り組み内容	具体的活動
デジタルトランスフォーメーション	<p>物流に関連したICTスキルを伸ばす意欲のある国内外の若者をソフトウェア開発者または物流現場のICT技術導入技術者として雇用し、物流現場のICT技術を活用した管理手法、ソフトウェア開発及びこれに附帯する業務に取り組むことで、新しい物流現場の管理手法及びICTスキルの習得を図っています。また、産学連携による取り組み等による物流におけるシステム、ソフトウェアの研究および開発を進めています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 物流ロボット・RPA導入 ● 早稲田大学創造理工学部経営システム工学科吉本研究室との産学連携 ● マレーシア日本国際工科院との産学連携 ● 社内キャリアアップ制度
環境保護	<p>物流で使用する資材のリサイクルに努め、倉庫管理システム「クラウドトーマス」を利用したペーパーレス化のほか、請求書及び契約書のペーパーレス化等も推進しています。また、物流センターへのLED照明導入等による省エネを推進する等、環境問題をはじめとする持続可能性（サステナビリティ）をめぐる課題に対する対応が、当社の持続的な成長を支える基礎となるよう、その体制構築に努めています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 梱包資材のリサイクル ● LED照明設置 ● 請求書ペーパーレス化 ● 契約書のペーパーレス化

関連するSDGs



[ご参考] SDGs への取組み

区分	取り組み内容	具体的活動
福祉と教育	<p>障がいをお持ちのお子様向け教育事業として、放課後等デイサービスの教室を運営し、発達障害を抱える児童の学童保育と呼ばれる放課後デイサービスを通じて発達に課題を抱えるお子さまの成長と自立をサポートしております。また、障がいをお持ちの方向けの就労移行支援事業所を運営し、一般企業への就職を目指す発達障がいをお持ちの方に、就職に必要な知識やスキル向上のサポートをしております。そのほか、企業主導型保育事業として保育園を運営しており、地域と積極的に関わりながら教育に取り組んでいます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 放課後等デイサービスの運営 ● 就労移行支援事業所の運営 ● 企業主導型保育園運営
ダイバーシティ	<p>ソフトウェア開発者としての外国人雇用、物流現場での外国人技能実習生の継続的な受け入れに加え、物流におけるシステム、ソフトウェアの研究及び開発のための研究機関「UTロボティクス研究所」をマレーシア日本国際工科院内に開設し、新しい技術導入の促進及び関連人材の雇用支援を図っています。また当社では、女性幹部を積極的に登用するほか、障がい者雇用についても積極的に推進しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人雇用の推進 ● マレーシア日本国際工科院との産学連携 ● 女性管理職比率 2020年2月末:26.3% 2021年2月末:34.5% ● 障がい者雇用率 2020年度:3.18% 2021年度:6.29% ● 育児休業取得率 2020年2月期 取得率:100% 2021年2月期 取得率:100%

関連するSDGs





[ご参考]
その他当社サービス

[ご参考] その他当社サービス

受注管理業務代行サービス [物流サービス事業]

EC・通販物流支援サービスの上流工程に位置し、Eコマースにおけるご購入者様の注文内容を確認し、電子メール対応や入金確認、出荷指示データ作成等の業務をお客様から受託。

「e.can」ご利用のお客様には「e.can Plus」
として、受注処理の自動化を行うことで、成長に対応するバックヤードを構築。また、一部業務はミャンマーの「ヤンゴンBPOセンター」を活用、効率化を推進。

受注管理業務代行サービスについて詳細はコチラ



(注) 「ヤンゴンBPOセンター」は、当社と業務委託契約を締結する外注先企業が運営しております。

RPA作成代行サービス「ippo! (イッポ!)」 [ITオートメーション事業]



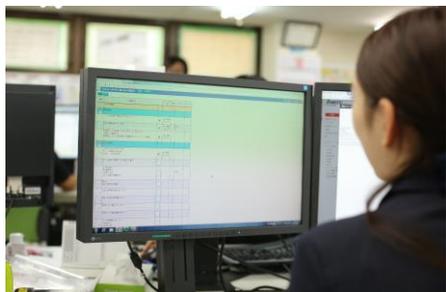
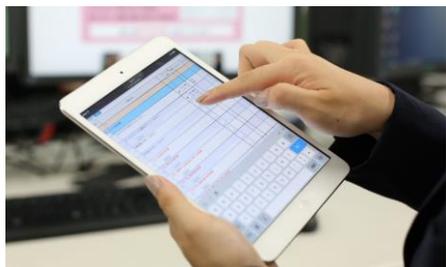
RPA で自動化した成功事例を多数もつ関通と、RPAツールである「BizRobo!」が連携し、RPA作成の代行、業務の自動化を支援する「ippo! (イッポ!)」をサービスとして提供。RPAを導入しようとする企業様や、導入したが上手く使えていない企業様のサポートをさせていただくサービスとなっております。

【ご参考】 その他当社サービス

現場作業の改善活動から生まれたクラウド型デジタルチェックリストシステム「アニー」

デジタルチェックリストシステム「アニー」 [ITオートメーション事業]

クラウド型の**デジタルチェックリストシステム**。当社がチェックリストの運用で業務改善を続けた結果、生み出されたソフトウェア。作業工程を**チェックリスト**として『**可視化**』することにより、作業の抜け漏れが無くなり、高い業務品質をお客様にご提供できる。リモートワーカーでの活用や重要書類作成などにも利用可能。



デジタルチェックリストシステム「アニー」について詳細はコチラ

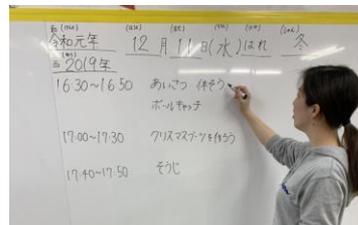


[ご参考] その他当社サービス

障がい者向け教育サービス [その他の事業]



障害をお持ちのお子様向けの放課後デイサービスの運営
障害をお持ちの方向けの就労移行支援事業所の運営



育児支援サービス [その他の事業]



企業主導型保育園の運営



外国人技能実習生教育サービス [その他の事業]



外国人技能実習生のミャンマーでの職業訓練サービス



免責事項

免責事項及び将来の見通しに関する注意事項

- 本資料において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載の内容に重要な変動が生じた場合は、本資料を更新・修正することがあります。



【お問合せ先】
株式会社関通 IR担当
お問合せについては、IR専用フォームをご利用ください。
URL : <https://www.kantsu.com/>

IR専用フォーム

